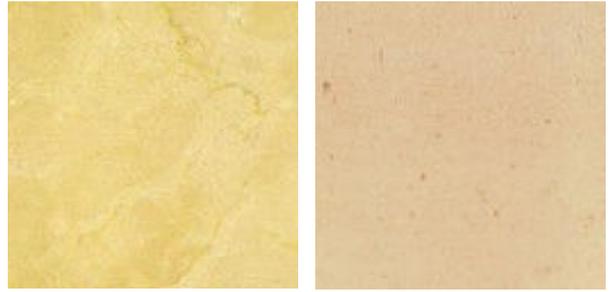


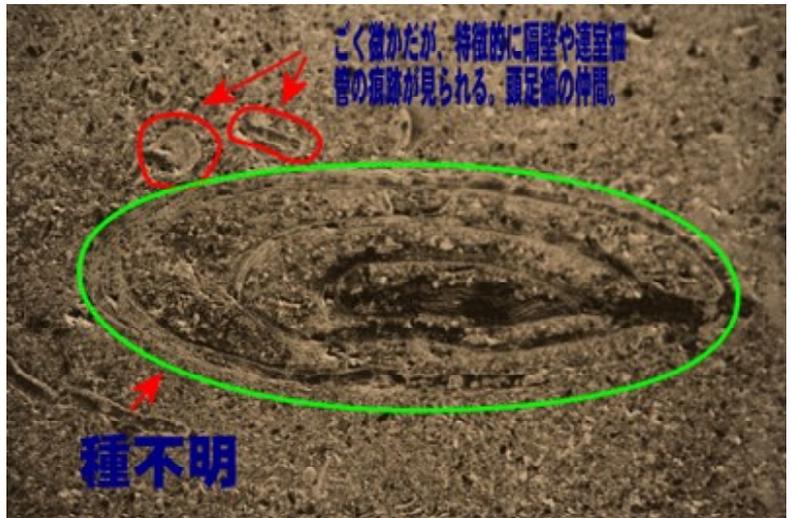
# 富山大和の石材

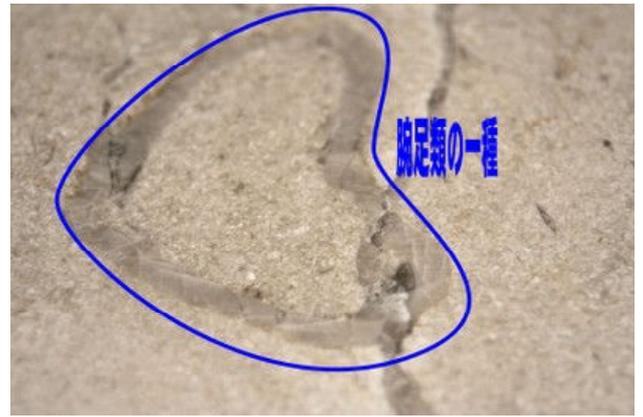
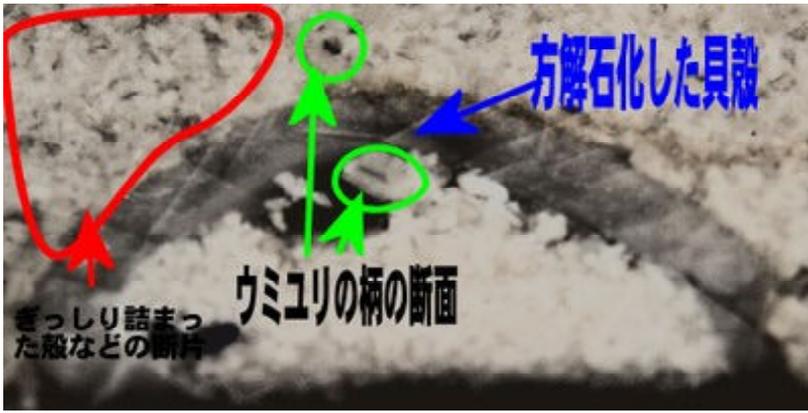
富山大和の総曲輪通りと国道41号線に面した二つの入り口付近の壁には、クリーム色の大理石クレママーフィル（スペイン産）が使われています。また、1階店舗内の柱の表面には、白色の石灰岩カリツァカプリ（スペイン産）が使われています。産出する採石場毎に微妙に色合いが変わるので、右の石材見本とは随分色合いが異なっています。カリツァカプリはもっと白っぽいものが使われています。



クレママーフィルの中には、ウミユリの断片が化石となっていたり、方解石化（透明感のある白色）した貝化石が入っています。透明感のある方解石の結晶が貝殻の形になっているのは興味深いものです。

また、カリツァカプリは熱による変成作用を受けていないので、中に含まれている化石には見分けられるものがあります。小さな粒のように見えるのは、ウミユリの柄の部分の部分がばらばらになったもので、ルーペで拡大すると中心に穴の開いている様子がよく分かります。螺旋状の貝の化石もあるのですが、殻の中に隔壁が見あたらないことから、斧足綱の巻き貝の仲間と考えられます。





※上の画像は、富山大和と総曲輪通南地区再開発組合の承諾を得て撮影し掲載したものです。なお、写真によって色合いが異なるのは、コントラストを強調したり明るくしたりするための画像処理の仕方によるものです。